

研究課題名	各種免疫性皮膚粘膜疾患患者に対する網羅的免疫学的研究
研究の意義・目的	自己免疫性水疱症を中心とする各種免疫性皮膚粘膜疾患に関して、その病態解明のため網羅的な免疫学的研究を進めます。血液や皮膚粘膜の検体を用いて、検査を行います。その結果、自己抗体や自己抗原を、同定・解析することにより、病態が理解できることとなります。さらに、これらの結果を解析することにより、より詳しい水疱症の病態解明や新しい診断法・治療法の開発につながる可能性があります。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ 2027年11月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	当院の皮膚科で、自己免疫性水疱症などの皮膚免疫性疾患の診断または治療のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<ul style="list-style-type: none"> ・診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ・過去にご協力いただいた研究(「正常ヒト皮膚を用いた水疱症診断/蛍光抗体間接法および免疫ブロット法」(承認番号:2980)、「各種免疫性皮膚粘膜疾患患者の血清と皮膚粘膜サンプルを用いた網羅的な免疫学的研究」(承認番号2019-055))でご提供いただいた下記項目を本研究に使用させてください。 試料:【血液、皮膚粘膜組織、水疱内容液、血漿交換廃液】 診療情報:【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ】
試料・情報の他機関への提供	この研究は 大阪公立大学皮膚病態学で行います。大阪公立大学医学部附属病院以外に受診された方は、試料・情報を大阪公立大学に提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学大学院医学研究科 皮膚病態学で行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 皮膚病態学 研究責任者 鶴田大輔
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 皮膚病態学 各機関に合わせてご修正ください。 (担当者氏名) 鶴田大輔 電話番号:(06)6645-2121